

Nexus 1000V シリーズ スイッチの vempkt コマンドでトラフィックをキャプチャする

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[vempkt コマンド](#)

[キャプチャの開始](#)

[キャプチャの終了](#)

[ファイル エクスポート](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Nexus 1000V シリーズ スイッチのトラフィックをキャプチャするために vempkt コマンドを使用する方法について説明します。

Nexus 1000V シリーズ スイッチには実際に操作できる物理的なスイッチがないため、問題のトラブルシューティングが困難です。多くの場合、パケットがアップストリームに送信されているかどうかを判断するにはパケット キャプチャが必要です。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ
- Cisco NX-OS ソフトウェア

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Nexus 1000V シリーズ スイッチに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

vempkt コマンド

Nexus 1000V スイッチに特定のホストを発信するトラフィックをキャプチャするのに便利なコマンドが、**vempkt** コマンドです。このコマンドは、SPAN セッションとよく似ています。ただし、キャプチャ デバイスを必要とせず、任意のインターフェイスに適用できるため、より柔軟です。

キャプチャの開始

トラフィックをキャプチャするには、トラフィックをキャプチャする仮想マシン (VM) を搭載した ESX ホストのコマンドラインに、**vempkt SSH** コマンドを入力します。このコマンドを入力したら、次のコマンドを入力します。

vempkt show info : 最新のキャプチャからの情報を表示します。

vempkt capture all-stages vlan [y] ltl [x]

LTL はリンクの Local Target Logic (ローカル ターゲット ロジック) の略です。LTL または VLAN が不明な場合は、**vemcmd show port** コマンドと **vemcmd show port vlans** コマンドを入力します。ポート チャネルの LTL にはホストのすべてのトラフィックが含まれるため、こちらを推奨します。

次のコマンドを入力すると、1 方向のパケットまたはドロップされたパケットもキャプチャできます。

vempkt capture [ingress | egress | drop | all-stages] ltl [x] vlan [y]

注: LTL を指定しないと、キャプチャはすべての LTL を示し、VLAN を指定しないと、キャプチャはすべての VLAN を示します。

最大伝送ユニット (MTU) サイズのキャプチャを指定するには、**vempkt size [mtu size]** コマンドを入力します。

キャプチャ パラメータを確認するには、**vempkt show capture info** コマンドを入力します。

キャプチャを開始するには、**vempkt start** コマンドを入力します。

キャプチャの終了

キャプチャの操作が完了したら、次のコマンドを入力してキャプチャを終了し、ファイルをエクスポートします。

1. **vempkt stop**
2. **vempkt show info** は、キャプチャの統計情報を示します。
3. **vempkt display detail all > /tmp/vempkt_capture.txt**. このコマンドは、キャプチャ ファイルをホストの /tmp ディレクトリに配置します。このディレクトリから、ファイルをデータスト

アにコピーして、vCenter でエクスポートできます。

4. vempkt clear

ファイル エクスポート

CLI からパケット キャプチャ (PCAP) にファイルをエクスポートできます。ホストで次のコマンドを入力します。 `##vempkt pcap export <filename>`. このコマンドは、現在のディレクトリにファイルを配置します。

関連情報

- [Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)